

事業番号	11 03 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	安全・安心な道路環境対策事業			部局	建設部	課・室	道路管理課
				実施期間	S30 ～	E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	持続可能で安定した暮らしを守る			快適でゆとりのある社会生活を創造する			

### 1 現状と課題

#### 【現状と課題】

- 道路施設の状況を把握し、計画的及び日常の補修を効率的に行い、既存施設を有効に活用し快適な道路環境の確保を図っている。
- 道路施設の老朽化に伴う維持管理費用の確保が課題である。

### 2 事業目的

- 長寿命化修繕計画に基づき、橋梁・トンネル等道路施設の修繕を行い適切な維持管理を図る。
- 適正な除雪体制を整え、効率・経済的な除融雪を行うとともに防雪・消雪対策により、冬期間の安全・円滑な道路交通の確保を図る。
- 計画的な無電柱化の推進により、緊急輸送道路や景観を重視する観光地等において障害となる電柱を無くし、景観形成と災害時の交通を確保する。
- 落石等災害の危険性が高い箇所について、落石防護柵などの防災対策施設を整備し、道路災害の発生を未然に防止する。
- 通学中の児童等の交通事故をなくし、安全に暮らせるための交通環境の実現を目指す。
- 世界水準の山岳高原リゾートを実現する重要なコンテンツである自転車の活用により地域づくりを図る。
- 道の駅のトイレリニューアルにより、トイレの洋式化、バリアフリー化と快適性の向上を図る。

### 3 事業目的を達成するための取組

#### ①道路施設の修繕及び適切な維持管理

- 橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕。

#### ②安全に暮らせるための交通環境の整備

- 通学路緊急合同点検による要対策箇所の改良整備。

#### ③自転車の活用による地域づくりの促進

- Japan Alps Cycling Road構築事業による、自転車通行空間の整備。

#### ④「道の駅」の整備・リニューアル

- 洋式・バリアフリートイレの整備。バリアフリー化や子育て支援設備の整備。



道の駅トイレリニューアル



サイクリングロードリニューアル

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	実績	実績	実績	実績			
①	早期に対応が必要な橋梁の修繕着手箇所数	橋	237/264 (89.8%)	223/987 (22.6%)	↗	917/987 (92.9%)	↗	987/987 (100%)	△	橋梁長寿命化修繕計画において、令和6年度までに987橋を修繕することとしている。計画4年目である令和5年度は987橋（着手率100%）を目指す。	
②	R3通学路緊急合同点検の要対策箇所の完了数	箇所	-	450/647 (69.6%)	↗	470/647 (72.6%)	↗	491/647 (75.9%)	△	・用地補償や物件補償を伴わない442箇所を令和4年度末までに完了。 ・用地買収や物件補償を伴う歩道整備等は、できる限り早期の完了を目指し、整備に時間を要する箇所は路面標示等即効性の高い対策を当面実施する。(205箇所)	

### 5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)	-	-	-	-	-	107.0
	(要求)	21,449,291	-	21,449,291	8,124,612	-	
R4年度	13,875,429	21,791,405	7,928,496	43,595,330	10,246,323	42,218,172	107.0
R3年度	21,010,784	21,734,857	13,365,035	56,110,676	13,298,381	42,218,172	107.0

事業名	安全・安心な道路環境対策事業	部局	建設部	課・室	道路管理課
-----	----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	舗装補修費、橋梁補修費、除雪費、交通安全施設費、道路橋梁維持修繕費、県単道路防災費他	21,734,857 千円	21,791,405 千円	(予算案) - (要求) 21,449,291 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	舗装補修工事	直接	大規模な劣化箇所の補修工事を実施する。 R5当初予算：373,800千円
2	橋梁補修事業	直接	橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、緊急性の高い橋梁等について、補修設計、修繕及び架替工事を行う。 R5当初予算：5,135,550千円
3	災害防除道路事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置工事を行う R5当初予算：2,365,167千円
4	雪寒対策道路事業	直接	スノーシールド・堆雪帯等の設置工事を行う。 R5当初予算：174,300千円
5	除雪事業	直接	県内一円において、除雪計画書に基づく除融雪作業を実施する。 R5当初予算：1,560,000千円
6	交通安全施設事業	直接	歩道の整備、交差点改良、道路情報板の設置工事を行う。 R5当初予算：2,618,133千円
7	電線共同溝整備事業	直接	電線共同溝の設置工事を行う。 R5当初予算：267,750千円
8	雪寒地域建設機械整備事業	直接	雪寒地域内の除融雪機械の購入の実施。 R5当初予算：366,250千円
9	道路橋梁維持修繕事業	直接	県内一円において、橋梁の比較的小規模な工事や、緊急の修繕工事を実施する。 県内一円において、除雪計画書に基づく除融雪作業を実施する。 R5当初予算：7,266,722千円
10	県単道路舗装事業	直接	県内一円において、凍結深さに対応していない旧舗装構造の箇所を凍結に対応した舗装構造へと改築する。 R5当初予算：191,105千円
11	県単交通安全対策事業	直接	歩道の整備、防護柵の設置、標識の設置を行う。 R5当初予算：418,798千円
12	県単道路防災事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置を行う。 R5当初予算：711,716千円